

## 平成 28 年度第 1 回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議 議事要録

◆日時 平成 28 年 6 月 28 日（火）19：00～21：00

◆会場 伊勢市役所東庁舎 4 階 第 2 会議室

◆出席委員

山本 誠委員、酒徳雅明委員、福村伝史委員、中村基記委員、木村成吾委員、齋藤 平委員、松山泰久委員、勢力 稔委員、秋山則子委員、山川一子委員

◆欠席委員

田中秀治委員、奥出 協委員、吉川真介委員、島田 武委員、美濃松謙委員、

◆出席職員

情報戦略局【情報戦略局長、企画調整課長、同課長補佐、同主事  
情報調査室長】

環境生活部【環境生活部参事、市民交流課副参事】

教育委員会【教育研究所長】

健康福祉部【こども課長】

危機管理部【危機管理課長】

産業観光部【商工労政課長、農林水産課長、観光誘客課長、観光振興課長】

都市整備部【建築住宅課長】

◆内容

(1) 本会議の目的について

(2) 委員委嘱

(3) 正副会長選出

会 長：齋藤 平委員

副会長：山川一子委員

(4) 正副会長あいさつ

(5) 地方創生交付金を活用した事業の効果検証について

・ 諮問内容の確認

・ 国から交付を受けた12事業のうち、総合戦略策定事業を除く11事業について、総合戦略で示すKPIへの効果について評価（内容については、別紙のとおり）

・ 資料の修正

別紙配布「正誤表」に基づき説明（国の統一基準による評価を踏まえての修正）

・ 総合戦略の進行管理、施策の効果検証等については、改めて実施することを確認

### ○シティープロモーション推進事業

本事業は KPI 達成に有効であったが、外部要因（サミット）の影響も大きかったと思われる。

[意見]

- ・外部要因（サミット）が大きかったかもしれないが、もともとの事業の目標指標値が低い

### ○出会い結婚支援事業

本事業は、KPI 達成に有効であったが、その後、結婚等に結びついたかどうかの追跡調査が有るとなお良い。

[意見]

- ・センター利用者のなかで、結婚した方はどれくらいか？  
→把握していない
- ・相談内容を分析して、対策を講じることが有効である。
- ・婚姻に至った件数を指標とするよりも、拠点施設の活用度を指標とすることのほうが良い。
- ・利用件数でなくて、相談件数に注目すべき。来所者は多いが、相談者、イベント参加者を足すと 586 件で目標を下回っている。KPI 達成には有効であったが、事業効果に対する評価としては甘い評価になっている。

### ○観光誘客宣伝事業

本事業は、KPI の達成に向けた取組は少しあるものの、総合戦略の KPI の達成に向けた取組としての関連性が弱い。

→事業（単年度）の KPI が、総合戦略の KPI 達成に有効かどうかわかりやすいものになるよう今後整理したい

[意見]

- ・本事業が KPI の達成に効果があったかどうかわからない。基本目標（新しいひとの流れ）に向けた取組かもわからないが、邦人向けの取組が多いので判断が難しい。
- ・今回の会議は、この事業に対する評価ではなく、この事業が総合戦略の KPI 達成に向けて効果があったかどうかを見るわけだが、個別の取組（広告や誘客への取組）が、どういう成果（神宮参拝者数の増）を生むつもりでやっているのかが見えにくい。経費をいくら使って何人の人が来たかをもっとシビアに見るべき。
- ・総合戦略の KPI 達成に向けた事業であれば、なぜこの事業をしたのか（戦略的意図）をわかりやすく表記すべき。
- ・実感として遠隔地からの観光客が増えており、宣伝効果はあると思っている。

### ○おもてなし推進事業

事業の KPI は達成しているが、総合戦略の KPI の達成に向けた取組としての関連性が弱い。

[意見]

- ・受入基盤・環境の整備のための事業かもわからないが、総合戦略の KPI に達成に向けた取組とは言えない。
- 受入基盤・環境の整備のため、多言語化などのバリアフリーに取り組んだ。交付金事業ではない事業において、車いす利用に向けての取組を行っている。  
総合戦略の KPI は、各施策で掲げる取組のうち、重点的な取組に係る指標を示しているものがあり、関連性が弱いことから、見直しする際に検討したい。

### ○大規模イベント等誘致開催事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ PR の取組が KPI 達成に結びついたと推測できる

### ○農林水産物ブランド化推進事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ 事業の KPI 設定に工夫が必要。
- ・ 取組に対してどれだけ売上が伸びたかを把握すべき。
- ・ 青ねぎは、関西の市場では 1 番の出荷量となっている。農業新技術導入等支援事業は、農家を強かに支援するもので、新規就農に結びついている。
- ・ 蓮台寺柿などは日持ちがしないのであれば、伊勢に来ないと食べられないという取組も必要。レストランと提携するなどの取組も面白い。

### ○移住促進事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ 広報を強化すべき。
- ・ 空家への移住だけでなく、外国人の日本の生活、文化を体験する場としての活用もできないか。高校生がスタッフとなり英語を活用する機会にもなる。

### ○子育て環境整備事業

事業の KPI は達成しているが、総合戦略の KPI の達成に向けた取組としての関連性が弱い。

[意見]

- ・ 保育体制の整備のための事業かもわからないが、総合戦略の KPI に達成に向けた取組になっていない。
- ・ 保育所における備蓄充足率が 100%とあるが、何をベースにしているのか。  
→主食となる物を親に引き渡すまでの間（1回）の分を備蓄しているかどうかを基準としている。

### ○教育環境整備事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ 置き形のコンピューターでは、全校順番に置こうとすると OS のサポート期間が間に合わない。タブレットは安価で数年で減価償却できるので、タブレットを推進していることは評価できる。
- ・ 事業の KPI と基本目標の KPI の位置づけが逆では。手段実績指標のほうが上位になっている。

### ○伊勢志摩広域観光誘客力パワーアップ事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ 成果品である伊勢志摩事典を教育現場で活用すべき。
- ・ 外国人旅行者が見る方が良く見る「JapanGuide.com」や「ロンリープラネット」などへの記事掲載を働きかける取組をしてはどうか。

○空家等対策推進事業

本事業は KPI 達成に有効であったと思われる。

[意見]

- ・ 中心市街地活性化計画とも関連のある取組である。